



今年度の所属委員会

経済港湾委員会 委員

経済観光局、港湾局、文化スポーツ局の所管事項についてチェックします。

未来都市創造に関する特別委員会 委員

三宮周辺・ウォーターフロント地区における都心の再生、潤いある都市空間の整備や新たな交通手段を含む総合交通体系の整備など、新たな時代の神戸のまちづくりに関する必要な調査を行います。

神戸市上下水道事業審議会 参与

神戸市水道事業および下水道事業に関する重要事項について、調査・審議を行います。

令和2年第1回定例市会(2月18日～6月26日)

本会議にて一般質問を行いました〔2020年6月26日〕

新型コロナウイルス感染症の影響や現状を考慮しつつ、経済施策や子どもたちへの支援について、また西区役所玉津庁舎に関して、以下4点の質問・提案を行いました。

1. ウォーターフロントにおける夜型観光の誘致について

Q **かじ** 我が会派では、宿泊を伴う夜型観光施策として「神戸夜市」の実施をこれまで訴えてきました。新型コロナウイルス感染症の第2波の影響や社会経済活動の進捗状況、観光を伴う人の移動など不透明な部分もありますが、今後のwithコロナ時代を踏まえつつ、屋外かつ夜型観光イベントの誘致、そして開催に至ることができれば、市内の事業者の支援に加え、神戸の夜のにぎわいも生み出すことができると考えますがいかがでしょうか。



A **久元市長** 以前からウォーターフロントエリアにおいて夜市を開催することについて指摘をいただけてきました。ぜひ前向きに考えるべきではないかと考えており、民間事業者主体の夜型イベントとして検討してきました。しかし、新型コロナウイルスの影響で開催には至っていませんが、ぜひこのウォーターフロントエリアで夜市を開催したいというふうに考えており、新型コロナウイルスの終息の状況を注視しながら、まずは期間限定で開催ができないか検討してまいります。

かじ要望

候補地については、メリケンパーク、みなとのもり公園、しおさい公園などを考えています。またファーマーズマーケットなど神戸の農業を知っていただく機会や、市が支援しているキッチンカーも一堂に集約すればと思います。くれぐれも感染予防や第2波、第3波など十分意識をしていただきながら、この夜型観光の誘致を民間事業者と一緒に進めていってほしいと要望しておきます。

2. 水素エネルギー事業の今後の展開について

Q1 **かじ** 神戸市は現在、水素関連事業の積極的な推進や水素サプライチェーン構築に向けた実証事業など、先駆的な取り組みを行っていただいています。今後の展開として、水素ステーションを増設し、利便性を高めていくことがより効果的ではないかと考えていますが、今後どのように政策を展開されるのか見解を伺います。



Q2 **かじ** 水素ステーションの誘致に関して、交通局の中央営業所は、営業所の規模を考慮しても土地に十分な余裕があります。一般車にもバスにも対応した水素ステーションの設置場所として好立地ではないかと思っておりますが、候補地の一つとしていかがでしょうか。

A1 **久元市長** 水素エネルギーの利活用について、水素ステーションの誘致が必要であるということは当然のことだと思います。今年度適地調査を開始し、調査結果を実効性あるものにするために運営事業者の掘り起こしを併せて行うこととしています。市としてもサプライチェーンの構築など、重要な未来の産業育成という観点からも進めてきており、誘致について全力で取り組んでいきます。

A2 **寺崎副市長** 議員から具体的な場所の提示をいただきました。現在、市としても様々な可能性を考慮しながら、適地の検討を行っているところであり、しっかりとこの検討を深めてまいります。

**かじ
要望**

公有財産の有用な土地活用という視点も十分考慮し検討してください。神戸市が強く取り組んでいる水素スマートシティ神戸構想、この理念を忘れずに、この熱を消すことがないように取り組んでいってください。

3. 西区役所玉津庁舎の利活用について

Q1 **かじ** 西区役所新庁舎は、令和3年度中に供用開始として、現在工事が進められています。西神中央全体のリニューアルを含め、西区の中心部がさらに活性化されていくことに期待しているところです。

一方で、現在の西区役所については、玉津支所として運営されることが決定していますが、今後の庁舎移転及び玉津支所開設に向けた具体的なスケジュールを伺います。また、区民からの意見・要望を受けた上で、玉津支所の具体的な機能など、今後の運用方針について現在までの検討状況を伺います。



A1 **岡口副市長** 玉津庁舎については、区役所移転後も玉津周辺の住民の皆さまにとって、市民サービスが著しく低下しないよう支所を設置し、現在の西神中央出張所より取扱い業務を拡充することとしています。また、空きスペースの活用について、市民意見を踏まえ、地域福祉センターや多目的ホール、図書コーナー、学習室など、地域住民が利用しやすい施設を候補とする活用素案を策定しているところであります。

スケジュールについては、令和3年度中の西区役所移転に合わせて、現玉津庁舎に玉津支所の暫定窓口を開設、令和4年から5年度に改修工事、そして令和5年度後半には玉津庁舎全体でのリニューアルオープンを予定しています。



Q2 **かじ** 玉津支所として新たに整備するに当たっては、バリアフリー対策や地域の拠点として魅力のある建物にリノベーションしていただきたい。そして誰もが訪れやすいような庁舎を期待しています。現在、各区役所に順次設置されている「おやこふらっとひろば」のような、子育て世帯をターゲットにする施設整備について考えはありますか。

A2 **岡口副市長** 玉津庁舎の設計はこれからであり、できるだけ魅力ある住民の皆さんに受け入れやすいものになるようしっかりと議論していきたい。また、子育て中の親子が室内で安全に過ごせる居場所に対するニーズが高まっていることは承知しており、子育て中の親子が気軽に集い、語り、くつろげるキッズコーナーや学習室の設置など候補として検討しています。

**かじ
要望**

この玉津支所の整備に関して、地元の住民の皆さんは注目し期待も寄せています。具体的な整備にあたって、区民や地元の皆さんの声をしっかりと吸い上げていただき完成に向けて進めてください。

4. 神戸っ子応援団事業について

Q1 **かじ** 神戸っ子応援団は、家庭、地域、学校、神戸市が一体となって、地域ぐるみで子どもたちの育ちを支え応援していく取り組みです。学校に求められるものが増えている一方、教職員の業務負担軽減も強く求められているなか、登下校の見守りや学習支援など、子どもたちの支援に関わる神戸っ子応援団の存在は非常に大きいと考えています。コロナ禍のなか、感染対策に取り組みながら学校生活を再開をしている現状において、学校現場を支える応援団の活動について、市としても後押しをしていく必要があると考えますが見解を伺います。



A1 **寺崎副市長** 神戸っ子応援団の取り組みは、学習補助、特別支援学校の補助、部活動の補助、環境整備、見守り、安全確保など多岐にわたっています。withコロナの時代において、子どもたちが長い学校休業の期間を強いられてきましたが、再開にあたり子どもたちの見守りは非常に重要な課題になっていると考えています。市としては、活動のポイントや実践事例の紹介、財政面においても市独自で1応援団につき年間5万円を助成、またボランティア保険料の確保など行ってきました。withコロナの時代において活動を進めるにあたりご苦労は多いかと思いますが、市としてもしっかりと取組を応援してまいります。

Q2 **かじ** 市として、応援団関係者にアンケートを取っていただいております。苦勞として特に多いのは、事務書類の作成が非常に煩雑だということ、また構成団体間の調整や学校との調整などが多いということ。これら負担軽減や、連携・調整などについて、市から助言や後押しをしていただきたいと考えますがいかがでしょうか。

A2 **寺崎副市長** 書類のために膨大な事務作業があるというのは、全く本末転倒の話でありますので、これについては大幅な見直しができるように早速対応したいと考えています。また、学校間の連絡・相談・調整について、優良事例であったり学校からのアドバイスであったり、様々なことで現場の苦勞が少しでも軽減されるように支援してまいります。

**かじ
要望**

1人の100歩より100人の1歩で子どもたちを見守っていけるように。そういう意味で、応援団が地域の子どもたちを思いながら、精力的に活動ができるような支援をお願いしておきます。



神戸市会のホームページから、かじ幸夫の一般質問の様子を動画で見ることができます！



コロナ禍への適切な対応により、 市民生活の安全・安心を市当局に求める

私たち「こうべ市民連合議員団」は、コロナ禍の現状を踏まえ、多くの市民の皆様から寄せられたお声を聞かせていただきながら、久元市長ならびに関係当局に対して要望をしてきました。特に、緊急事態宣言解除後の中期的な対策として、コロナ感染の第2波を起こさせない取り組みや、Withコロナ時代に適応するよう市民生活の実態に即した対応策として、以下の施策を要望しました。



要望 ①危機管理体制について

災害時における避難所のあり方については、マスク、消毒液等の備蓄を確保する等避難所におけるウイルス対策を講じること



要望 ②医療産業都市神戸として

スーパーコンピューター富岳の活用や医療産業クラスターを活用して、コロナウイルス収束に向けた研究と広報に努めること
神戸市民病院機構で働く看護師や看護補助者をはじめとした医療従事者を増強すること



要望 ③市民サービスの向上について

コロナ感染症対策を講じながら、生活が激変した市民の相談等に対応出来る職員体制と人員配置を図り、市民サービスを向上させること



要望 ④教育環境の整備について

学校再開時における児童生徒のケアを行う退職教職員等の人材を活用すること
夏休み期間の短縮を想定し、熱中症対策として理科室・家庭科室等の特別教室や 給食調理室へエアコンを早急に設置すること
児童生徒へ一人1台のタブレット端末を貸与する等、ICT 学習環境の整備を早急にすすめること

これら要望を受け、6月議会では神戸市新型コロナウイルス感染症対策緊急補正予算〔第2弾〕として、

今後は、コロナ禍への適切な対応として、

- ◆医療体制のさらなる強化
- ◆PCR検査体制の強化
- ◆学校現場におけるICT環境の推進

など対策の強化を求め、市民生活の安全・安心を築くべく市当局へ申し入れていきます。

- ①検査体制の強化及び医療提供体制の安定的確保
- ②市民生活の維持・支援と新しい生活様式への対応
- ③経済活動の維持・回復

を柱とする、一般会計・特別会計合計112億3千万円の予算を可決・成立させました。

皆さま気を付けて
お過ごしください かし幸夫



新型コロナウイルス感染症情報&神戸市熱中症対策
については、神戸市ホームページの情報もご参考に！

